

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	環境論	2	磯田 尚子	
平成25年度以前				
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ				言語
<p>環境問題は、現代社会における様々な要因が複雑にからみ合って生じている。したがって、それがそもそもどのような問題であり、どのようにして生じているかを解き起こすこと、さらにその解決のためにどうすればよいかを考え行動することが重要である。本講では、政策科学的な視点に加えて、環境哲学的な視点をも採り入れる。</p>				共通
授業の概要				専門基礎
<p>なぜ自然を保護するかという点について考えながら、自然保護思想を理解するとともに、現代の新しい問題について論じる。</p>				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回：環境問題へのアプローチ：エコロジーの概念 第2回：保全と保存 第3回：土地倫理 第4回：自然の権利(1)：自然の権利訴訟 第5回：自然の権利(2)：自然権享有主体拡大論 第6回：自然の権利(3)：自然の権利とその法政策的意義 第7回：動物の権利 第8回：新しい環境倫理とディープ・エコロジーの成立 第9回：ディープ・エコロジーの展開 第10回：ディープ・エコロジーの理念 第11回：ディープ・エコロジー以後の環境思想 第12回：自然環境保全のための法制度 第13回：自然再生 第14回：里山の保全 第15回：環境保全と地域設計</p> <p>【履修上の注意事項】 講義のなかに議論の時間を取り入れる。積極的に講義に参加してほしい。</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子(編著)『多元的環境問題論(増補改訂版)』(ぎょうせい)				演習
参考書・参考資料等				25年度以前 共通科目
講義において適宜紹介する。				
学生に対する評価				
原則として試験の成績によって評価するが、授業への積極的参加を平常点として加算する。				